

「ひょうごビジョン2050（案）」への意見と県の考え方（概要）

[意見募集期間] 令和3年12月24日～令和4年1月13日（21日間）

[意見提出件数] 94件（27人）

[意見対応状況] 反映：21件 記載済み：24件 今後の参考：16件 その他：33件

※詳細は【別添】参照

<第1部 基本事項> 17件

項目	意見の概要	件数	県の考え方
1 ビジョンの役割	県民のチャレンジを県行政は積極的に応援するということを書くべき。	1	【反映】 本文に「県はそうした取組を促し、支えます」と追記
2 社会変化の潮流	男尊女卑や若い人への年長者の抑圧的な態度が社会的に許容されなくなってきたという変化が重要であり明記すべき。	1	【反映（別途対応）】 そうした社会変化のデータを今後整備する新ビジョンのポータルサイトの基礎データ集に掲載
3 兵庫の強み	前提となる「五国の個性」はもっと内容を厚くしてほしい。	1	【反映（別途対応）】 今後整備する新ビジョンのポータルサイトで五国の個性を紹介
4 策定の視点	健全な競争は必要。競争か包摂かという二者択一的な記載にしなくてもよいのでは。	1	【反映】 「格差と分断を乗り越えて共に歩む「包摂」へ」と修正
	「包摂」という言葉が聞き慣れない。	2	【反映（別途対応）】 今後整備する新ビジョンのポータルサイトに用語解説を掲載。なお、「包摂」はビジョンのめざす姿を端的に表す言葉の一つであり、ビジョンのキーワードとして取り上げることで認知度を高めていきたい。
	「開放性」はよいと思うが、その意味合いをもう少し明確にできないか。	4	【反映】 「伝統的な価値観も大切し、対話を通じて互いに認め合う、他者に寛容な社会」などと追記
その他、「誰もが共有できるビジョンにすべき」など7件の意見があった。			

<第2部 めざす姿> 54件

項目	意見の概要	件数	県の考え方
1 自由になる働き方	「働く場所」が選べることの中に「住む場所」も選べるようになることが含まれていることを記載すべき。	1	【反映】 「働く時間と場所や住まいを選ぶ働き方」と追記
	雇用の流動化がもたらす弊害について楽観的にすぎる。	1	【反映】 右下線部を追記「雇用の流動化に対応した学び直しや職業訓練の仕組みが整い、 <u>どんな働き方でも安心して暮らせませす</u> 」

2 居場所のある社会	ちょっとしたイベントなどの参加のハードルを下げて、誰もが気軽に社会と関われる仕組みが必要。	1	【反映】 アクション例に「誰でも気軽に参加できるイベントを地域で開催しよう」を追記
3 世界へ広がる交流	兵庫県民が兵庫県内をもっと訪れてもっと知って五国全土に愛着が持てる未来も大切。	1	【記載済み】 第1部基本事項3兵庫の強みの「五国の個性」に「県内での活発な交流が新たな力を生み、兵庫に活力をもたらす」と記載済み。めざす姿④や⑭でも意見の趣旨を記載済み
4 みんなが学び続ける社会	大人が正解を決めない、正解だと教えない教育が理想的。	1	【記載済み】 「無意識の思い込みを自省し、決めつけずに対話し、待つことができる大人が増え」など記載済み
	高校が大学受験の予備校みたい。もっと興味や適性に応じて学びたいことを学べるようにしてほしい。	1	【反映】 「高校の特色化がさらに進み、義務教育終了後の選択肢が広がっています」と追記
5 わきあがる挑戦	「まだ社会にないもの」にチャレンジする非営利団体・市民活動を応援する姿勢を示すべき。	2	【反映】 第1部基本事項に「県はそうした取組を促し、支えます」と追記
7 みんなが生きやすい地域	「女性にとって選んでもらえる地域」であることが兵庫県の繁栄にとってとても重要な事項ではないか。	1	【反映】 めざす姿①と⑧に対応する記載を追記。なお、女性活躍は「現時点できていないとおかしい話」「女性だけ特出しして記載することに違和感」などの意見もあり、全体を通じて、性別に関わらず、すべての人が自分らしく生きられる社会をつくるという書きぶりにしている。
	相手の思いを知ることで物の見方や感情が変わるので、話し合いや意見交換をすることが大事だ。	1	【記載済み】 「対話を通じて異なる文化や価値観を持つ人への理解が深まり」など記載済み
8 安心して子育てできる社会	雇用形態にかかわらず、個人事業主でも保障がある未来を希望する。	1	【反映】 めざす姿①と⑧に対応する記載を追記
	子どもの医療費の高校卒業までの無料化や、小学校・中学校の給食の無料化などを実施すべき。	1	【今後の参考】 市町によって対応に差があることは一つの課題と認識
9 安心して長生きできる社会	ベーシックインカムの考え方はないのか。	1	【その他】 財源確保の問題が大きく国民的議論を深める必要があるため、「ベーシックサービス」の考え方を紹介するコラムを掲載するに止めた。
11 進化する御食国	ICTの活用により、持続可能で収益向上可能な漁業をめざすべき。	1	【反映】 アクション例に「スマート農水産業に取り組もう」と追記

11 進化する御食国	地方の人口減が激しいので、農業・漁業で若者が食べていける状況をつくらなければならない。	1	【記載済み】 ご意見のような視点を重視してめざす姿①の全体を構成
12 活動を支える確かな基盤	さらに高齢化が進むため、交通事故防止や通院・買い物等を支えるインフラ整備の充実を行うべき。	1	【記載済み】 「あらゆる地域で移動手段が確保され」「犯罪や事故の少ない安全な地域」など記載済み
13 カーボンニュートラルな暮らし	近年で最も森林は豊かな状態で、中山間地域では野生動物との軋轢が深刻化するほどであり「豊かな森が甦り」という表現は不適切。	1	【反映】 本文を右下線部の通り修正「豊かな森の再生により野生動物の本来の生息域が甦っています」
	エネルギー自立は、自給自足の方向性を目指すべきではない。	1	【その他】 できる限り化石燃料に依存しない社会をつくる方向性として「エネルギー自立」と記載している。
14 分散して豊かに暮らす	ワーケーション・二地域居住・多拠点居住は、防災・減災につながり、兵庫県 の強みも活かせる ので、産学官の研究会を発足するなど推進すべき。	1	【今後の参考】 今後の取組の中で意見の趣旨を踏まえる。
15 社会課題の解決に貢献する産業	水素は現在、石炭から製造するため、製造時に大量の二酸化炭素を排出する。太陽光・風力・小規模水力などの推進に力を入れるべき。	1	【今後の参考】 水素がCO2フリーのエネルギー源となる可能性に着目して「水素社会」を取り上げている。
その他、空き家の活用、外国人の受け入れ、最低賃金の引き上げなど34件の意見があった。			

<第3部 実現に向けて> 14件

項目	意見の概要	件数	県の考え方
(2) 先導プロジェクトの推進	県民が活動のイメージを持ちやすいようにすることが必要。	1	【記載済み】 15のめざす姿の「アクション例」に記載済み
	五国の特徴を活かした先進的な取組を進めてほしい。	2	【記載済み】 「先導プロジェクトの推進」にその旨を記載済み
	指導も含めた規制が積極的な活動の支障にならないように願いたい。	1	【今後の参考】 今後の取組の中で留意する。
(3) 対話と学びの場づくり	県民の理解を深め、県民と共に歩みを進めることが重要（動画等の活用、若者と議論する場の設定など）	6	【今後の参考】 意見の趣旨を踏まえて今後の取組を進める。
(4) 推進状況の見える化	活動の見える化とPDCAサイクルによる進行管理を行うべき。	1	【記載済み】 「毎年度の点検評価」で記載済み
	その時々時代の時代に合ったビジョンに進化させていくことを期待。	1	【記載済み】 「柔軟な対応」で記載済み
その他、「自分たちも共に試行錯誤していきたい」など2件の意見があった。			

以上の他、県の行財政改革に関する意見、国防の強化に関する意見など9件の意見があった。